



羽ばたけ

令和2年2月19日 <第15号>

家庭教育はすべての教育の出発点

小清水小学校長 可児隆洋

少し堅い話から入りますが、「学校教育」と「家庭教育」は教育基本法という法律に規定されています。

(学校教育)

第六条 2 学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

(家庭教育)

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

タイトルにある「家庭教育はすべての教育の出発点」という文言は、先日の参観日全体懇談でも使わせていただきました。家庭教育を語る上でよく使われる言葉です。この教育基本法第十条が根拠になっているのでしょうか。



このような法律で決められていることを、知っているとしても、知らなくても、保護者の皆さんには、当たり前のように家庭教育に努めていただいています。

日々の家庭生活の中で、子ども達は、基本的な生活習慣を身につけます。信頼感や思いやり、物事の善悪、社会的なマナーなどは、最も身近な「社会」である家庭教育が出発点です。

基礎基本の定着を図り、わかりやすい授業をするために その1

近年、基礎・基本という言葉は、教育の専門用語のようになっていますが、「基礎」は建築用語として使われている言葉でもあります。建物の土台となる基礎工事で手抜き工事をすると大きくて立派な建物を建てる事ができません。義務教育に限れば、教育用語でつかう「基礎」とは、小学校で習得する内容です。小学校の基礎がしっかりしていれば、中学校では、広く高層階まで積み上げることができるということです。「基本」も「基礎」とほぼ同義で使われます。中学校の学習内容は、小学校で習得したものを応用したり、組み合わせたりしたもので構成されています。

小学校には、「基礎・基本の定着」が求められます。定着というのは「根付いて離れない」ことですので、小学校で習得したことは、根付いて離れないようにするのが小学校の役目ということです。ところが、先日の参観日の全体懇談でしめしたように中学校の現状は下のイラストに近いようです(小清水に限らず一般的な話として)。



課題解決の一つの方法として 小中一貫教育

基礎基本の定着を図り、わかりやすい授業にするための数ある解決策の一つとして、小中一貫教育があります。

中学校の学習内容の基礎となっている小学校の勉強は何なのかを中学校の先生が知る事。小学校の学習内容が中学校でどのように組み合わせたり、応用されているのかを小学校の先生が知る事。これだけでも現状を改善する手立ての一つになります。



基礎工事中の現場を体験している中学校の先生方(6年生の中学校舎登校、中学校の先生による授業)

- Q. 「あいさつ/礼儀や生活習慣は、だれが身につかせますか」
 A1. 地域の教育 A2. 学校の教育 A3. 家庭の教育

全体懇談会では、「A3. 家庭の教育」に誘導するような進め方でしたが、答えは、全てが正解です。家庭だけの責任ではありません、学校だけの責任でもありません。「家庭」と「学校」と「地域」で協働しながら、子ども達を育てていくのが理想です。ただし、出発点である「家庭教育」があってこそその学校教育だということは大前提なのです。

学校では、家庭教育を基にして子ども達に教えた事は、学校の外でも発揮して欲しいという願いをもって指導します。保護者・地域の方々には、子ども達の良かったところ、良くないところ等、学校の外の子どもの様子を小さなことでも良いので聞かせていただきたいと思います。

基礎基本の定着を図り、わかりやすい授業をするために その2

12月の保護者アンケートにもあったように、先生方は基礎基本の定着を図り、わかりやすい授業をめざしています。下の資料は、小清水小学校教員の研修資料として「教師の授業NG集」として共有しているものです。NGを集めているということは、教師としては、「ありがち・やりがち」な事だということです。

学校では、この資料を先生方が時々見て、自分の姿を省みるために提示しました。

学校の先生向けに作った物ですが、教師を保護者に置き換えたら、保護者のみなさんも当てはまることもあるかもしれません。

1 教師の思考のNG



- × 「前に教えたのに…」と**思って指導していませんか？**
○「前の学習を忘れている子がいる」と**思って指導する教師へ**
- × 「どうしてわからないのかな…」と**嘆いていませんか？**
○子ども達の「わからない要因」を探ることができる教師へ
- × 「静かにしなさい」と子ども達に**言っていませんか？**
○自分の指導を省みて、改善点を考えられる教師へ



2 わかる・できる授業へのNG



- × 「わかりましたか？」と子どもに**聞いていませんか？**
○わかっているかどうかを確かめる学習活動を仕組む教師へ
- × 「わかりました！」という子どもの言葉で**安心していませんか？**
○「何が、どれ位わかったのか」確かめようとする教師へ
- × 「どうせわからない…」と子どもを**投げやりにさせていませんか？**
○「わかるようになりたい…」と子どもに**思わせる教師へ**



3 授業準備と展開のNG



- × 教材に子どもの学習を**合わせていませんか？**
○子どもの興味・関心や能力に教材を**合わせられる教師へ**
- × 挙手の数や発言者の様子ばかり**気にしていませんか？**
○挙手や発言をしていない子の表情を**読み取れる教師へ**
- × 指導案通りに授業を展開しようと**していませんか？**
○子どもの学習状況に応じた展開が**できる教師へ**



4 指導と評価のNG



- × テストの結果で、子どもの勉強不足を**嘆いていませんか？**
○テストの結果で、自分の指導を見直せる教師へ
- × 誰が見てもわかる姿を**評価していませんか？**
○誰も気付いていない**わずかな成長を評価できる教師へ**



教職員の責務としての「いじめ問題への適切な対応」

これまで3回にわけて、いじめについて学校の考えや取り組みを示してきました。

- 12号・・・「いじめ意識調査アンケート」について
「いじめ」とは何か
- 13号・・・「いじめ」を未然に防ぐために
- 14号・・・「いじめの早期発見と積極的かつ正確な認知のための調査」について



12月に実施した保護者アンケートでは、教職員はいじめの防止や対処に真剣に取り組んでいない（あまりそう思わない含）との評価が15%（約20名）も回答がありました。

本来なら「0%」でなければならない数字です。「0人」でなくてはなりません。冬休み明けの会議では、教職員全員でこの数字に向き合い、下記に示す「教職員の責務」を心に刻み、あらためて取り組みの強化を確認しました。

- ① 早期発見・早期対応
ささいな変化・兆候であっても、軽視せず、いじめとの関連を常に考慮して、早い段階から関わる。
- ② 情報の共有、報告
いじめを発見したり、相談を受けたりした場合は、職員で情報を共有し、校内組織で対応する。
- ③ 被害児童を守る
事実関係を確認し、組織的な対応方針の下、被害児童を徹底して守り通す。
- ④ 言語環境を整える
教師のささいな一言が、児童を傷つけたり、いじめを助長するような言動につながったりする事を認識する。
- ⑤ 教職員の対応力向上
いじめ問題に適切に対応できる力を向上させる。



一日入学が終わりました

保護者説明会の校長からの挨拶では、「安心して、お子様をあずけてください」とは言わずに、「愛情を持ってたくさん心配してください」と言いました。おかしな事を言い始める校長ですが、子供達にとって、新しい生活は不安な事はばかりなのです。心配して当たり前です。

良くないのは「心配 (worry) が支配 (control)」になってしまう事です。大人が何でも手を貸してしまうと、自分で何も出来ない子になります。「あれしたの、これしたの」と心配して声をかけてばかりいると、自分で考えられない子になります。これは、愛情という名を借りた子どもの「支配 (control)」です。

子どもの“自立のチャンス”を潰さないように、巣立ちの苦しみに真っ向から立ち向かうのが大人の役目です。心を配って、気にかけて、お節介にならないようにお世話をし、自立させることが愛情です。



1年生に教わって紙飛行機作り



広い体育館でもおもしろい飛ばしました



小清水小学校 学校だより

羽ばたけ

令和元年3月16日 <第16号>

児童会選挙立ち会い演説会で思った事

小清水小学校長 可児隆洋

1 児童会選挙

「みなさんは、『自分の良い所』や『もっと頑張りたいこと』を10個言えますか？」

児童会立ち会い演説会と投票が終わった後、このような問いかけを子ども達にしてみました。

自分の長所や短所を正しく分析して評価出来る子は、勉強でもスポーツでも音楽でも上達できる子です。児童会に立候補した子ども達の演説は、どの子も立派でした。「私はこれに力を注ぎたい」「小清水小学校のここを改善したい」と自分や学校の現状を分析して、具体案を提示する姿を見ることができていました。

自分を客観的に見たり、自分の学校を客観的に見て考えたりすることはとても難しいことなのです。しかし、立候補した子ども達は、短い演説文の中で自分の考えをしっかりと伝えることができていました。



「この後の開票で誰かが当選して誰かが落選するのですが、だれが児童会三役になっても立派に役目を果たし、残念ながら落選しても別の場所で力を発揮することでしょう」と、応援の言葉を贈りました。

2 自分を客観的に見ること

自分は何ができるのか、自分は何がしたいのか、自分は何ができたのかを正しく判断することはとても難しいことです。スポーツの場面では、ただひたすら汗をかいて体を動かすだけではなく、自分の動きの意味や状況判断を考えさせ引き出す指導が主流です。また、金管バンドの指導を見ていると、自分の音、自分たちの音を聞き取る力が演奏の善し悪しにつながることがよく分かります。

そこで大切なのは、スポーツでは、その瞬間に求められる適切な動きや判断はどれなのか、音楽で言えば、聞いている側の心に響く演奏はどれなのかという規準を正しく示すことです。子ども達を導く側の大人が正しい判断基準を示さないと、子ども達から自分を正しく客観視する機会を奪ってしまうということです。

あらためて、今回の児童会選挙を機会に、自分たちが学校のためにできる事、高学年としてどうあるべきかを、先生方と子ども達とで考えて欲しいなと思っています。



少年の主張大会

第38回少年の主張大会が開かれました。発表した5年生と6年生の児童は、授業や宿題で書いた作文を授業の中でみんなで読み合い代表として選ばれました。

愛ホールの壇上で大勢の前で少し緊張していたものの、堂々と意見発表することができました。内容は、「ペットや家畜を通して考えた命の大切さ」、「夢や目標をもつことで得られたものや出会い」、「ネット社会だからこそ大切なコミュニケーション力」、「小学校6年間で学校や地域で学んだ事や将来への決意」。どの発表も頼もしく素晴らしい内容でした。

この少年の主張は、学校教育だけではなく、地域教育の成果発表です。小清水の未来を担う子ども達が、何を見たり、感じたりして、どのように主張するのかを見届けるために、地域の皆さんも是非少年の主張大会に足を運んで欲しいと思います。後日、主張作文を収録した文集「心」が関係各所に配布されます。

当日の発表を聞くことができなかった方々には、本文集を読んで、小清水町の子どもたちの「心」の成長の一端に触れていただきたいと思います。



福祉を学ぼう

6年生の総合的な学習の時間に福祉を学ぶ時間があります。今年度は、講師として小清水赤十字病院から介護福祉士にグストティーチャーとしてきていただき、実際に福祉の現場で働いている方々のお話や体験活動を行いました。

最初に、「高齢者の特徴」や「高齢者に多い事故」などを座学で学んだ後、体験活動にうつりました。「車椅子介助体験」「高齢者疑似体験」「衣服の着脱介助体験」等をグループにわかれて、一つの体験を20分間かけて一通り学んでいきました。

最後は、高齢者との接し方について自分の感想を含めて発表しました。子ども達も説明を聞きながらじっくり体験したので、そこで学んだ事を自分のこれまでの経験をふまえてしっかり感想を話すことができました。



高齢者疑似体験

衣服の着脱介助

車椅子介助体験

小清水小学校ホームページを使って「学習支援のWebページ」を紹介する予定です。

臨時休業中の児童の学習機会のサポートとしてご活用ください。



みんなの力で STOP! コロナウイルス 「手洗い」「かん気」「手が届かないきより」

宿題をいつもよりたくさん持ち帰った日、おうちの人から「明日から学校が休みになるんだって」と聞いてびっくりした人もいます。

1週間だと思っていた休みが、春休みまで延びてしまい、1年生から5年生は卒業式に出られなくなり、とうとう修了式も離任式もなくなってしまいました。

みんなが来ることが出来なくなった学校はひっそりとして寂しかったのですが、今日は、久しぶりにみんなの元気な顔を見ることが出来る「ぶんさん登校日」です。今日のこの日が来るのを先生方はとても楽しみにしていました。

この臨時休校で、みんなの「勉強する時間」や「みんなと遊ぶ時間」や「いろいろな思い出」などが無くなってしまいました。

しかし、みんなが学校をお休みすることで、自分が病気になるのを防いだり、自分のまわりの人たちが元気でいられたり、命を奪われてしまう人を救うことができるようになります。

お休みは、もうしばらく続きますが、みんなで力を合わせてコロナウイルスの感染を防ぎましょう。そして4月にまた笑顔で会えるよう頑張りましょう。



休み中は外にでて遊んでも良いですか？
買い物について行っても良いですか？

みんなが家の中ばかりにいて、運動不足になったり、ストレスを感じてしまっている方が心配だよ。

やっぱり、外に出て思いっきり体を動かすことも大事にしてほしいな。家のまわりを走ったり、散歩したり、縄跳びなんかも家の周りのできるよね。

おうちの人と相談して、安全な活動場所をいっしょに考えてもらって外に出よう。ただし、かぜの症状がある時はおうちで休もうね。

おうちの人と買い物だっけ行きたいよね。

ただし、熱があったり、せきが出るような時は外に出てはいけません。それに、人がたくさん集まっているお店や、風通しが悪い場所に長い間いるのは、感染のリスクが高くなります。

おうちの人と買い物について行くなら、混み合っていないお店や、時間帯を選んでいきましょう。



図書館まで本を借りに行ってもいいですか？

図書館に、子どもだけで行くのは、もうしばらくガマンしましょう。本を借りたい時は、お家の人に頼むか、人が混み合っていない時間に、お家の人につれていってもらいましょう。

図書館では、本や雑誌を手にとったり、机や椅子に触れたりすることがあります。図書館に入る時と出る時には、かならず手や指のアルコール消毒や手洗いをしましょう。



保護者の皆様へ

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための臨時休業措置であるという趣旨をご理解いただき、今後も、不要不急（特に人の集まる場所等）の外出を控え、基本的に自宅で過ごすようお願いしている事には、変わりありません。

しかし、子ども達が長い時間を家の中で過ごすことで運動不足になったりストレスがたまるのが心配です。そして最近では、屋外での活動や人との接触が少ない活動や、一定の距離（手を伸ばして相手に届かない程度の距離）をとった上での会話は、感染リスクが低いとされているようです。

あくまでも、感染拡大防止の臨時休業の趣旨を踏まえてご家庭で判断していただき、子ども達の家の外での活動のサポートをお願い致します。



臨時休校中の個別相談について

小清水小中学校保護者の皆様に連絡です。

臨時休校中の生活や学習などについて相談したいことがある場合は、学校までご連絡ください。相談方法は、電話や来校、家庭訪問を行います。

先日、フェアキャストで連絡させていただいた内容の詳細です。

まずは、お電話をください。

お電話で連絡をいただければ、内容により来校相談、家庭訪問等の対応方法や、日程等を調整させていただきます。期間は、3月25日以降の春休み期間中、新学期まで対応させていただきます。

お休み中の学習面、生活面、その他、どのような事でもけっこうです。

お問い合わせ、ご連絡をお待ちしています。

連絡窓口 小清水小学校 ☎0152-62-2053 教頭まで

